

基本計画26 公共施設の長寿命化

現状と課題

人口減少が進行する一方で、経済成長期に整備されたインフラや公共施設の老朽化が進む中、「新しく造る」ことから「大事に使うこと」への重点化が課題であるとして、政府は平成25年に「インフラ長寿命化基本計画」を策定するとともに、地方自治体に対しても計画的な長寿命化対策を行うよう求めています。

本市が保有する建築系公共施設は、151施設（353棟）、総延べ床面積約23万㎡で、その多くは平成12（2000）年までの間に建築されています。

また、総延べ床面積のうち、33.9%が学校教育施設、32.3%が市営住宅となっています。

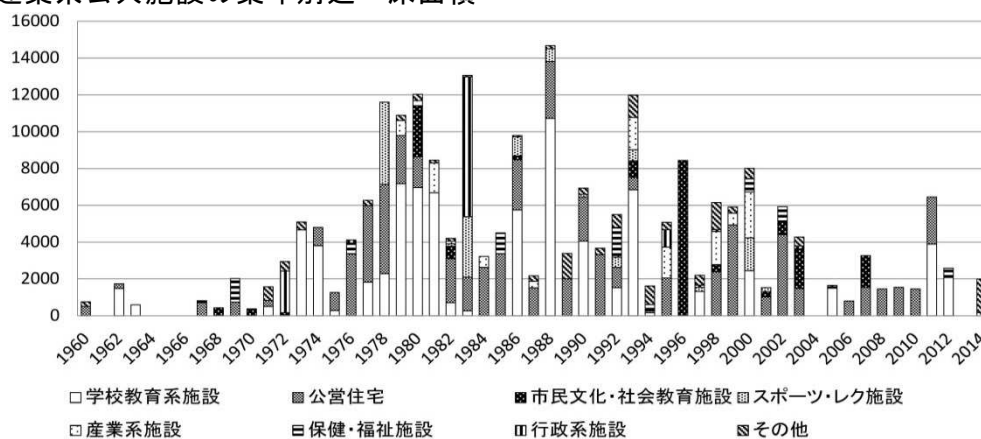
道路、橋りょう、上下水道等のインフラ系公共施設は、市道約500km、橋りょう117橋、上水道約280km、下水道約210kmとなっており、このうち、橋りょうの多くは昭和55年から平成元年までの間（1980年代）に、下水道は平成4（1992）年以降に整備されています。

過去の都市拡大に伴い整備されたこれら本市の公共施設は、老朽化が著しいものもあり、また、今後耐用年数が到来するものも増加することから、長期的な視点や財政への影響を十分考慮しながら、施設の安全性、機能性を確保するための維持管理や長寿命化対策を総合かつ計画的に取り組んでいく必要があります。

■ 建築系公共施設の概要

施設区分	施設数	延床面積	構成比
学校教育施設	18	77,661㎡	33.9%
公営住宅	22	73,954㎡	32.3%
市民文化・社会教育施設	17	19,330㎡	8.4%
スポーツ・レク施設	11	13,046㎡	5.7%
産業系施設	11	12,456㎡	5.4%
行政系施設	7	11,413㎡	5.0%
保健・福祉施設	8	6,939㎡	3.0%
その他	57	14,516㎡	6.3%
合計	151	229,315㎡	100.0%

■ 建築系公共施設の築年別延べ床面積



成果指標

No.	指標名及び説明	現状値	将来目標値
1	建築系公共施設の利用満足度	56.6%	➔

[成果指標の現状値・将来目標値について]

- 1 現状値は平成27年12月に実施した「これからの公共施設のあり方に関するアンケート」の結果。

主要施策

1 長寿命化対策の計画的な推進

- ① 学校施設や芸術文化・スポーツ施設、住民施設、健康センター（せせらぎ温泉）、市役所本庁舎は、建物主要構造部の劣化を抑制する予防保全の改修事業とともに、機械設備の点検強化や更新事業を推進します。
- ② 道路・橋りょう、市営住宅、下水道の長寿命化対策は、政府の社会資本総合整備計画の動向を踏まえ、財源確保に努めながら推進します。
- ③ 上水道は中長期の更新需要などを検討した上で「老朽管更新・耐震化計画」を策定し、地震や災害に強い施設の更新を進めます。
- ④ 施設個々の長寿命化対策は、ライフサイクルコストの最適化を十分に分析した上で計画し、財政負担の平準化や財源確保を考慮しながら推進します。

【関連主要施策】	P67	主要施策1	安全・安心な教育環境の充実	①
	P73	主要施策5	施設・設備の充実	①
	P87	主要施策3	道路・橋りょうの長寿命化対策の推進	
	P91	主要施策1	安全な水道水の安定供給	②
	P91	主要施策2	下水道の整備促進	②
	P112	主要施策2	コミュニティ施設の適切な管理	①

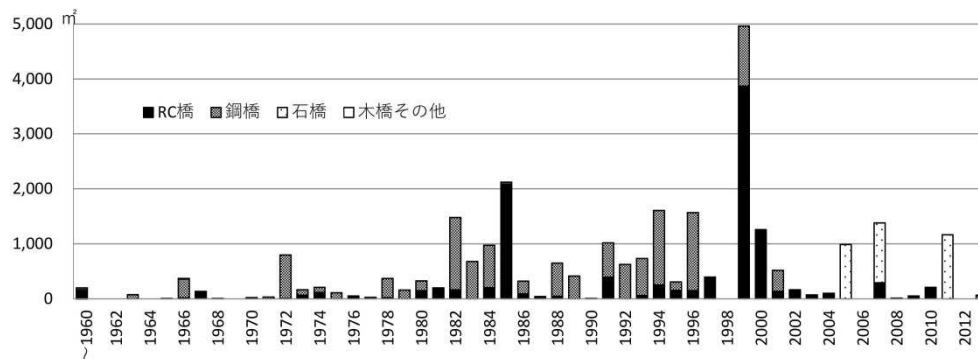
2 総合的なマネジメントの推進

- ① 公共施設等総合管理計画の進捗管理と「統一的な基準による地方公会計制度」（新地方公会計制度）による資産を含む財務状況の分析、情報開示を一体的に行い、個別事業のPDCAサイクルの確立に努めます。
- ② 横断的な庁内マネジメント体制を構築し、個別事業計画と財政見通しとの調整を図りながら、総合的な長寿命化対策を進めます。
- ③ 市民協働や民間ノウハウを活用した公共施設運営のあり方を検討し、施設管理・運営の効率化を図るとともに、必要に応じ、受益者負担の水準を見直します。

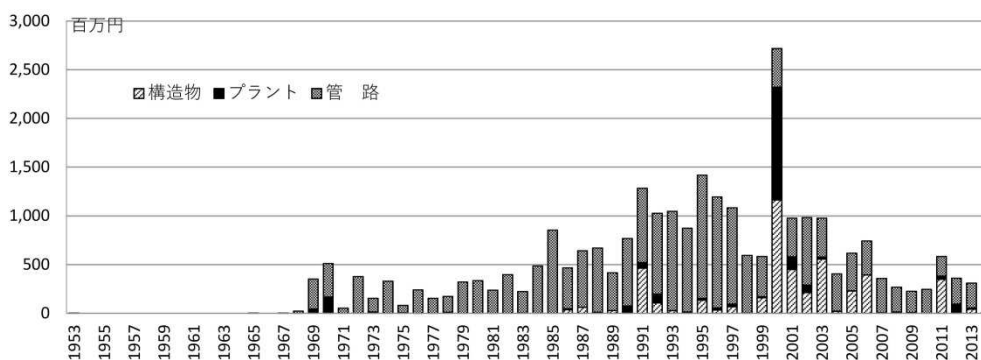
■インフラ系公共施設の概要

分類	内訳
道路	実延長合計(市道のみ)498,019m、道路面積合計(道路部)4,357,426㎡
橋りょう	実延長合計3,797m、橋りょう面積合計27,249㎡
上水道	実延長合計275,544m
下水道	実延長合計215,020m

■橋りょうの建設年別面積



■上水道の施設年別現在価値



■下水道の敷設年別延長

